



くみあいたより

JAなんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

暖かいハウスの中で椎茸栽培

町内農業法人の(有)ほなみ・(有)NOAHは、冬期間ハウスにて椎茸栽培を行っており本年も順調に収穫を進めています。ハウス内には、数えきれないほどの菌床が並べられており、外はマイナス気温の極寒でも椎茸が一定の期間で育つよう温度管理等がなされていました。

取材時は外気温がマイナス10℃でしたがハウスの中は半袖でもほど良いくらいの温度でした。収穫はすべて手作業で進められ、収穫後はコンテナいっぱい椎茸が手際よくバック詰めされていました。取材では「温度管理をして生育が一定になるようにコントロールしているが、外気温の関係で一気に育ってしまった時は、収穫が間に合わなくなってしまい大変」と教えていただきました。椎茸の栽培は、春の農繁期前の3月下旬まで続けます。



令和5年産長ねぎ播種開始

2月7日(火)より、JAなんぼろ育苗センターでは、長ねぎの播種作業が始まりました。

本年は「北のいぶき」「ホワイトソード」「北の匠」「ちゃんこ葱」の4品種が播種される予定です。

播種作業は、紙製のチェーンポットに種子を播いたあと、覆土を行い、ビニールハウスに丁寧に並べられ、約1ヶ月育苗されます。

1作目の出荷は3月14日(火)に予定されており、3月30日(木)までに5作(約6,000枚)の播種作業が行われます。



インボイス制度についての研修会開催

1月27日(金)、南幌町農業生産法人会は、JA3階大会議室にてインボイス制度についての研修会を行いました。

開催に先立ち、法人会の増田会長(有)フローア)から「新型コロナウイルス感染症が蔓延以降、なかなか今回のような研修会等を開催出来なかったが今回開催できてもうれしい」と挨拶がありました。

講師には、あらい税理士事務所より荒井利幸税理士を招き「インボイス制度開始に向けて準備すべきことは？」との講演テーマのもと、適格請求書等保存方式(インボイス制度)や、インボイス制度導入前に確認検討しておくこと、その他の注意点等についてQ&Aを交わかりやすく教えていただきました。

本年10月より開始されるインボイス制度についてしっかりと学び、ことができ、よい研修会となりました。

なお、1月20日(金)にも、南幌町農協主催のインボイス制度についての研修会が行われました。



春作業衣類展示即売会開催

2月1日(水)から3日(金)の3日間、エー
コープなんぼろ店2階研修室にて、グリーンセ
ンター主催の春作業衣類展示即売会が開催され
ました。

展示即売会では、手袋や衣類、長靴等の新作
商品をはじめ、多種多様な商品が並べられてお
り、各系統メーカー厳選の商品が組合員価格で
販売しているとあって、沢山の商品を購入する
組合員もいらっしゃいました。

春作業を前に、多くの組合員の皆様にご来場
いただき盛況で終わることができました。



グリーン コミュニケーション

このコーナーは、JAグリーンセンターをご利用の皆様により親しまれる店舗づくりを目指して、くみあいだよりの紙面からグリーンセンター情報を発信するコーナーです。

融雪剤の季節です

3月に入ってから日中の気温も上がり、融雪材をお買い求めのお客様が増えてきました。グリーンセンターでは多数の融雪材を店頭にてご用意しておりますので、春先の営農が始まる前に散布して融雪を促進しましょう！



左:「防散融雪タンカル(粒)」
右:「融雪アッシュ(粉)」
他にも「塩化カルシウム」や
「すべり止め用乾燥砂」もございます！



～皆さまのご利用を心よりお待ちしております。

補正予算事業等の受付を実施

1月31日（火）から2月3日（金）の4日間、JA2階中会議室で令和4年度補正予算「畑地化促進事業」に係る要望調査および「畑作物産地形成促進事業（旧水田リノベーション事業）」等の申請手続きを行いました。

受付にあたり、各曜日で地区割を実施、手指消毒の実施、アクリルパーテーションを設置するなど万全の感染対策を行いました。

期間中天候の悪い日もありましたが、たくさん生産者の方が訪れ、南幌町農業再生協議会事務局である営農部農業振興課と南幌町産業振興課農政グループの職員が申請内容の確認等を行いました。



青年部だより

発行者
JAなんぼろ青年部
編集責任者 奈良岡達平

農業者の気持ちを消費者へアピール

2月6日（月）から10日（金）の期間で4日間、JAなんぼろ青年部は、スポーツセンター駐車場にスノーメッセージを作成しました。

スノーメッセージとは、安全・安心な農畜産物の生産にかける農業者の心意気を消費者にアピールするもので、本年のスローガンは、JA空知青年部連合会による「躍進」の大テーマのもと「Keep Making Progress」に決まりました。このスローガンには「躍進し続ける」という意味があり、この先の未来が不

透明で不安もあるが、俺たちJAなんぼろ青年部は、立ち止まることなく率先して進み続けていくという盟友の熱い思いが込められています。本年は、背景のデザインにも力を入れ我々が生活している「地球の躍進」をイメージしたイラストを描きました。

完成したスノーメッセージの出来栄えに対し、岩村部長は「ここ数年で一番の出来で満足している」と自信に溢れた感想を述べられました。

スノーメッセージは、2月10日（金）から2月16日（木）までの7日間展示され、農業者の熱い思いを消費者の方々にPRすることが出来ました。



女性部大会を開催

2月8日(水)、J A 3 階大会議室にて、令和4年度J A なんぼろ女性部大会が開催され、部員44名が参加しました。

大会には、来賓として林組合長をはじめ、南幌町より大崎町長、普及センター空知南西部支所より山本支所長が出席され、林組合長からは「南幌町の大切な産業である農業を支えていただいている皆さんの活動を今後とも応援させていただきたい」とのお言葉がありました。

大会中盤では、「家の光記事紹介」を行ない、家の光から抜粋した記事をもとに、女性部員に家の光のPRを行いました。

また、講演では、社会福祉法人南幌福祉会の作業療法士、土橋北斗さんより「肩こり・腰痛・膝痛、痛いところに付き合うために自宅でできる簡単体操」と題してストレッチを教えてくださいました。座って出来る動きをメインに、家事の間でも出来る立ちながらの簡単なストレッチ等も教えていただきました。体験後には「日常生活で動かしていない筋肉も動かすことが出来てとてもよかった」との声がありました。

大会中に恒例の「作品展示会・即売会」を行い、1グループの出店にたくさんの方が集まり、作品を購入する方などが見られとても賑わっていました。

最後に、お待ちかねのビンゴ大会を行い、たくさんの方の笑顔の中、今年度の行事を終えることができました。

令和元年以来の開催となりましたが、部員同士久しぶりに顔を合わせたこともあり、近況報告など会話が弾み良い大会となりました。



フレッシュミズが交流を深める

2月14日(火)、フレッシュミズ交流会を開催し、3名のフレッシュミズと幼児1名が参加しました。体験では、南幌町農村環境改善センターにて、長沼町のヨガスタジオ「ひなたぼっこYoga」の金子里美先生を招きヨガ体験を行いました。

その後、町内の飲食店に移動し、ランチをしながら親睦を深めました。

ヨガで体をリフレッシュするとともに、美味しい料理を堪能しフレッシュミズの良い交流の機会となりました。

参加した部員からは「みんなと楽しく話が出来てとても良い交流会だった」との声もありました。今回の交流会では、皆さん久しぶりに顔を合わせたこともあり、話題が尽きることなく話に花が咲いていました。



長船技師による営農情報！

主要作物の生育特性と養分吸収パターンの特徴



作物の栄養成長段階では一般に作物体を大きくするため、養分面では特に窒素が多く必要ですが、生殖成長に移行した後は窒素が効き過ぎないように管理していく必要があります。

果実や花を収穫する作物は、窒素が多すぎると糖度が低下したり花持ちが悪くなるなど品質が低下する場合があります。今月は主要作物の生育特性別の生育と養分吸収パターン（特に窒素中心）を説明します。

表1 主要作物のタイプ別生育特性と養分吸収パターン

	グループ	種類	生育特性	窒素成分の吸収パターン
穀類・豆類	栄養生長、生殖生長完全転換型	稲、麦等	水稻の移植から幼穂分化期までが栄養生長期で茎葉を繁茂させるが、幼穂分化期以降生殖生長に移行し、同化産物のでんぶを糊に貯蔵ようになる。	山型吸収
	栄養生長、生殖生長不完全転換型	豆類（ダイズ等）	初期生育は緩慢であるが、開花期以降急激に生育し子実肥大期に再び緩慢になる。	山型吸収
野菜類	栄養生長型	<葉菜類> ホウレンソウ、コマツナ、シュンギク	栄養生長体である葉部を生育最盛期に収穫する。	連続吸収
	栄養生長、生殖生長、同時進行型（つるばけ抑制）	（弱抑制） トマト、ナス、キュウリ、ピーマン （強抑制） スイカ、メロン、カボチャ	栄養生長体である茎葉を伸長させながら、生殖生長体である果実の肥大・充実を図り、連続的に収穫する。	連続吸収 山型吸収
	直接的結球型	タマネギ、ニンニク、ラッキョウ	生長点に刺激がもっとも強く作用し、球葉が形成されて、生育相が転換する。	山型吸収
	間接的結球型	ハクサイ、レタス、キャベツ	外葉の生長の後、球葉が形成されて、生育相が転換する。	連続吸収に近い山型吸収
	根肥大型	直根型 ダイコン、カブ、ニンジン 塊根類 バレイショ、カンショ、サトイモ	地上部は中期ピーク型、地下部は生育量並行型のパターンを示すが、地上部からの養分移行を要する。	山型吸収
	栄養生長、生殖生長、完全転換型	スイートコーン、ブロッコリー、カリフラワー	栄養生長は止葉の出現により停滞し、生殖生長に転換する。	山型吸収
花き類	栄養生長、生殖生長、完全転換型	カーネーション、キク	栄養生長後、花芽分化期から生殖生長に転換する。	山型吸収
果樹類	栄養生長、生殖生長完全転換型	常緑果樹 柑橘類、ビワ 落葉果樹 リンゴ、ナシ、カキ、ブドウ	春の発芽期から生育初期は貯蔵窒素が主に使われるが、その後は当年に吸収した窒素の役割が大きくなる。秋以降に吸収された窒素は貯蔵窒素として蓄積される割合が高く翌春の生育に使われる。	山型吸収

参考資料：新版 土壌診断と作物生育改善

新登場！ 農業者賠償責任共済



農地や農業施設の所有・使用・管理や農作業に起因する損害賠償責任への保障をお考えの方におすすめします！

農業者賠償共済はこんな時にお役に立ちます

～農作業中における損害賠償事例～

事例①

畑で農薬を散布していたところ、
薬剤が風にあおられて、隣の農
家の畑に
飛散し、生育
不良となった。
(ドリフト)



損害賠償額 約 510 万円

事例②

肥育している牛が敷地外へ脱
走し、走行中の
車両と接触、
車両に損害を
与えた。



損害賠償額 約 70 万円

事例③

草刈りの作業中に巻き上げた
小石が付近を走行していた
車に当たり、
破損させて
しまった。



損害賠償額 約 50 万円

※お支払いには所定の条件があります。 ※損害賠償額は J A グループ調べ

農業者賠償責任共済の 3 つの特長

安心

幅広い賠償責任をカバー

多くの農業者共通の 4 つのリスクに対
して 1 つの共済で総合保障。

施設賠償リスク

生産物賠償リスク

保管物賠償リスク

生産物回収費用リスク

シンプル

わかりやすい共済掛金設定

基準となるのは農地面積とご希望の支
払い限度額のみ。
3 つのプランをご用意しています。

3, 000 万円コース

5, 000 万円コース

1 億円コース

簡単

自動継続で手間いらず

1 年で自動継続するため、面倒な継
続手続き等は不要（農地面積に変
更がある場合等除く）。



○共済掛金例：共済期間 1 年

(2022 年 4 月現在)

農地面積	支払限度額		
	3,000 万円コース	5,000 万円コース	1 億円コース
0.5ha 未満	5,760 円	6,500 円	8,050 円
0.5ha 以上 1ha 未満	6,950 円	7,850 円	9,720 円
1ha 以上 2ha 未満	8,390 円	9,470 円	11,730 円
2ha 以上 4ha 未満	10,120 円	11,430 円	14,150 円
4ha 以上 20ha 未満	18,610 円	21,010 円	26,010 円
20ha 以上 50ha 未満	48,280 円	54,520 円	67,490 円
50ha 以上 100ha 未満	75,210 円	84,920 円	105,130 円
100ha 以上 200ha 未満	92,830 円	104,810 円	129,770 円
200ha 以上 300ha 未満	105,820 円	119,470 円	147,910 円
300ha 以上 400ha 未満	114,360 円	129,120 円	159,860 円
400ha 以上 500ha 未満	120,760 円	136,340 円	168,810 円
500ha 以上 (以降 100ha あたり)	+3,690 円	+4,170 円	+5,160 円

POINT !

共済掛金は
必要経費として
計上することが
できます。

※法人は損金算入可能



農業者を取り巻くリスクは身近に存在しており、農地や農業施設の所有・使用・管理、農作業に起因する損害賠償事故が多く発生しているため、農業者賠償責任共済（ファーマスト）のご加入をご検討ください。

お問い合わせは

JAなんぼろ 共済課

JA共済

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【22019990059】

理事会報告

2月22日

2月定例理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

- 1、令和4年度事業報告、貸借対照表、損益計算書の作成について
- 2、第75回通常総会の提出議案（総会参考書類）について
- 3、令和4年度剰余金処分案について
- 4、令和5年度事業計画の設定について
- 5、令和5年度農畜産物販売品の手数料及び利用料等の設定について
- 6、賦課金の賦課及び徴収方法について
- 7、役員報酬の支給について
- 8、土地改良法にもとづく土地改良事業の実施について
- 9、総会報告事項の承認について
- 10、春の経営懇談会の開催日程について
- 11、令和5年度営農計画審査方針等の設定について

【報告事項】

- 1、第2回営農振興組合長会議の開催について
- 2、JAグリーンセンターの土日・祝日営業について
- 3、1月末農産物の保管状況について
- 4、令和4年度年間経営定期点検実施報告書について
- 5、内部監査の実施報告について
- 6、令和4年度自己査定結果について
- 7、リスク情報について
- 8、マネー・ローンダリング等および反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について
- 9、ヘルプラインの運用実績について

1月30日

1月臨時理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

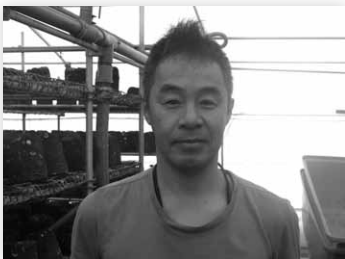
- 1、理事会の諮問審議委員会の答申について
- 2、令和5年度予算大綱について
- 3、令和5年度経営定期点検実施計画について
- 4、役員と組合の取引基準について
- 5、北海道信用農業協同組合連合会への出資増口について
- 6、令和5年度余裕金の運用について
- 7、経営基盤強化積立金の取崩について
- 8、期末賞与の支給について

【報告事項】

- 1、第12回監事会の開催について
- 2、令和4年度職員の資格取得状況について

～表紙の紹介～

◎今月号は、榊原真史さん（有ほなみ）に表紙を飾っていただきました。



私達のJA

令和5年1月末日現在

組合員 (前年同期比)	2,679名 ▲25名
正組合員 (前年同期比)	445名 ▲1名
准組合員 (前年同期比)	2,234名 ▲24名
正組合員戸数 (前年同期比)	280戸 ▲0戸

職員人事異動

人事異動は左記の通りです。
退職（1月31日付）
▽山本かなえ（旧部署・営農部農業振興課）

編集後記

2月は、記録的大雪・記録的寒波等とテレビの報道で聞くことが多かったように思います。確かに-20℃と見慣れない気温が車の温度計に映っていて驚きました。これから春に向かいますが、暖気の後は、ブラックアイスバンの危険も潜んでいます。皆さんも交通事故には気をつけてください。

くみあいだより担当の吉田は、1月末で退職された山本係と記念写真を撮りました。



発行 JAなんぼろ 〒069-0293 空知郡南幌町栄町1丁目4番7号
TEL 011-378-2221(代表)、011-378-2274(直通) FAX 011-378-0846 発行日 令和5年3月1日
ホームページ <http://www.ja-nanporo.or.jp> メールアドレス koho@ja-nanporo.or.jp

企画・編集 営農部農業振興課 印刷 ㈱トリムシステム